

公共図書館 電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート 2018

2018年7月20日

■アンケート■

Q1【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館（者）についてご記入ください
※1-1 は記入必須となります。

Q1【1-1】 貴図書館名

Q2【1-2】 図書館数(中央館と分館の数)

Q3【1-3】 ご担当者お名前

Q4【1-4】 ご連絡先メールアドレス（半角英数字でご入力ください）

Q5【1-5】 部署名

Q6【1-6】 電話番号

Q7【1-7】 FAX 番号

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果の発表会及び図書館における電子書籍サービスのセミナーのご案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途に「図書館の電子書籍に関する用語の説明」を添付していますのでご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

Q8【1-8】 図書館所在の自治体区分について選択肢からご選択ください(一つ選択、回答必須)

- (1) 都道府県立図書館
- (2) 政令市立図書館
- (3) 特別区（東京都）立図書館
- (4) 市町村立図書館

Q9【1-9】 アンケート集計資料の送付方法について選択肢からご選択ください(一つ選択)

※ご回答下さった図書館には回答者様宛でメールでアンケートの集計結果をお送りいたします。

- (1) メールによる送付を希望（メールアドレス必須）
- (2) 送付不要
- (3) その他

Q10【2】図書館の新設、図書館システムの更新等について

以下の質問 2-1～2-6 につきましては、お答えいただけるところがありましたらお願いいたします

※ご回答なしでも結構です

Q10【質問 2-1】 図書館の新設予定がありましたら、選択肢からご選択ください

- (1) 中央館の新設（改築更新）予定あり
- (2) 分館の新設予定あり
- (3) 特に新設予定なし
- (4) その他

Q11【質問 2-2】 図書館のリニューアルの予定がありましたら、選択肢からご選択ください

- (1) 中央館のリニューアル予定あり
- (2) 分館のリニューアル予定あり
- (3) 特にリノベーションの予定なし
- (4) その他（記載）

Q12【質問 2-3】 質問 2-1、2-2 の質問で図書館新設・リニューアル予定がある場合、いつごろオープンする予定か、選択肢からご選択ください

- (1) 平成 30 年度（2018 年）
- (2) 平成 31 年度（2019 年）
- (3) 平成 32 年度（2020 年）
- (4) 平成 33 年度（2021 年）
- (5) 平成 34 年度（2022 年）以降

Q13【質問 2-4】 現在の図書館システムを更新した時期について、選択肢からご選択ください

- (1) 平成 29 年度（2017 年）
- (2) 平成 28 年度（2016 年）
- (3) 平成 27 年度（2015 年）
- (4) 平成 26 年度（2014 年）
- (5) 平成 25 年度（2013 年）
- (6) 平成 24 年度（2012 年）以前
- (7) 図書館システムを導入していない
- (8) その他

Q14【質問 2-5】 図書館システムの更新予定について、選択肢からご選択ください

- (1) 平成 30 年度 (2018 年)
- (2) 平成 31 年度 (2019 年)
- (3) 平成 32 年度 (2020 年)
- (4) 平成 33 年度 (2021 年)
- (5) 平成 34 年度 (2022 年) 以降
- (6) その他

Q15【質問 2-6】 上記 2-1～2-5 の質問についてご意見等ありましたらご記入ください

Q16【3】電子図書館サービスで導入・検討しているサービスについて

Q16【質問 3-1】「電子図書館サービス」として実施しているものがありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※このアンケートにおいて「電子図書館サービス」とは、(1) 電子書籍貸出サービス (2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス、(3) データベース提供(新聞データベース等)、(4) デジタルアーカイブの提供、(5) 音楽・音声配信サービスとなります。その他の「電子図書館サービス」については、「その他」に具体的にご記入ください。

※Web での図書検索・貸出予約サービス、OPAC 検索は、アンケートの「電子図書館サービス」には含まれていません

- (1) 電子書籍貸出サービス
 - (2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (3) データベース提供サービス
 - (4) デジタルアーカイブの提供
 - (5) 音楽・音声情報配信サービス
 - (6) その他(記載)
-

Q17【4】「電子書籍貸出サービス」について

Q17【質問 4-1】 貴館の「電子書籍貸出サービス」の状況について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

※「電子書籍貸出サービス」とは、電子書籍を期間等を限定して貸し出すサービスです

- (1) 電子書籍貸出サービスを実施している
 - (2) 電子書籍貸出サービスを実施する予定が具体的にある
 - (3) 電子書籍貸出サービスの実施を検討中（まだ具体的でない）
 - (4) 電子書籍貸出サービスを実施する予定はない
 - (5) その他（記載）
-

Q18【質問 4-2】 質問 4-1 で(1)(2)(3)を選択された方に、電子書籍サービス提供方法について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 登録利用者の自己の電子書籍端末（スマホ・タブレット等（パソコン含む以下同じ））に電子書籍コンテンツを提供
 - (2) 図書館の管理する電子書籍端末に電子書籍コンテンツを提供
 - (3) その他（記載）
-

Q19【質問 4-3】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、外部事業者サービスは以下の(1)～(4)からご選択ください。当てはまらない場合は(5)その他をご選択ください(複数選択可)

※(1)について「2016年10月以前導入については「TRC-DL」を指します。

- (1) LibrariE&TRC-DL（図書館流通センター（日本電子図書館サービスコンテンツ））
 - (2) Rakuten OverDrive（楽天・メディアドゥ）
 - (3) Kinokuniya Digital Library（KinoDen）（紀伊國屋書店）
 - (4) EBSCO eBooks（EBSCO Japan）
 - (5) その他（記載）
-

Q20【質問 4-3-1】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、「電子書籍貸出サービス」を導入して、評価できる機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 音声読み上げ機能
 - (2) 文字拡大機能
 - (3) 文字と地の色の反転機能 (読書障害対応)
 - (4) マルチメディア機能 (映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供)
 - (5) 電子書籍の紙出力による提供 (コンテンツのプリントアウト)
 - (6) 必要な情報発見の検索サービス (コンテンツ全文検索)
 - (7) その他 (記載)
-

Q21【質問 4-3-2】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、「電子書籍貸出サービス」を実施する場合の課題について、懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

- (1) 電子図書館導入予算の確保
 - (2) 担当部署、担当者の問題
 - (3) 図書館利用者からのニーズ
 - (4) 電子書籍貸出サービスの導入に対する、費用対効果
 - (5) 電子書籍貸出サービスで提供されるコンテンツ
 - (6) 電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか (サービス中止に対する不安)
 - (7) 図書館の電子資料を他の図書館へ貸出すための方法や基準
 - (8) 電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識 (経験) がない
 - (9) 電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (10) 利用者に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (11) その他 (記載)
-

Q22【質問 4-3-3】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、質問 4-4-2 で(5) (コンテンツの課題)を選択された方におかれまして、以下の懸念がございましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツのタイトル数が少ない
- (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
- (3) コンテンツの規格がわかりにくい
- (4) コンテンツの価格
- (5) コンテンツ購入 (提供) 費用の会計処理の基準
- (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
- (7) その他 (記載)

Q23【質問 4-3-4】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスを実施している」を選択された方について、図書館の一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別しているか、いないかをご回答ください(一つ選択)

- (1) 一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別している
 - (2) 一般登録者と電子書籍貸出サービスの利用登録者を区別していない
 - (3) その他(記載)
-

Q24【質問 4-3-5】 質問 4-3-4 で(1)「区別している」を選択された方について、一般登録者数に対する、電子書籍貸出サービスの利用登録者の割合をご選択ください(1)～(6)、また(7)に一般登録者数をご記入ください。

※割合、登録者数は、概数で結構です。

- (1) 10%未満
- (2) 10%以上 20%未満
- (3) 20%以上 30%未満
- (4) 30%以上 40%未満
- (5) 40%以上 50%未満
- (6) 50%以上
- (7) 一般登録者数[]人

Q25【質問 4-3-6】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、昨年度(サービス開始から1年未満の場合はこれまでの合計)の電子書籍の閲覧件数、貸出件数をご記入ください。

- (1) 閲覧件数 []件
- (2) 貸出件数 []件

Q26【質問 4-3-7】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスの実施している」を選択された方について、「電子書籍貸出サービス」を導入後の感想を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 計画(予想)よりも、利用(利用者)が多い
 - (2) 計画(予想)通りの利用数である
 - (3) 計画(予想)よりも、利用(利用者)が少ない
 - (4) その他(記載)
-

Q27【質問 4-3-8】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスのを実施している」を選択された方について、「電子書籍貸出サービス」を導入の運営管理について(複数選択可)

- (1) 運用・管理は予定通りである
 - (2) 運用・管理が煩雑で負担が大きい
 - (3) 利用者(利用希望者)からの説明希望が少ない
 - (4) 利用者(利用希望者)からの説明希望が多い
 - (5) その他(記載)
-

Q28【質問 4-3-9】 質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスのを実施している」を選択された方について、「電子書籍貸出サービス」で購入(契約)している電子書籍コンテンツのタイトル数について、記入可能であればご記入ください(数値記入)

- (1) 電子書籍コンテンツのタイトル数
[]件

Q29【質問 4-3-10】質問 4-1 で(1)「電子書籍貸出サービスのを実施している」を選択された方について、電子書籍コンテンツ購入の資料費全体における割合、又は費用項目をご選択ください。

※わかる範囲、ご選択できる範囲で結構です

- (1) 資料費の 10%未満
 - (2) 資料費の 10%以上～20%未満
 - (3) 資料費の 20%以上
 - (4) 電子書籍サービスについて商用データベースと同等の「使用役務」に含んでいる
 - (5) 電子書籍サービスについて、サービスの「委託料」として扱っている
 - (6) その他(記載)
-

Q30【質問 4-4】 質問 4-1 で(2)(3)を選択された方で、「電子書籍貸出サービス」実施予定開始時期があれば、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1) 平成 30 年度(2018 年)
- (2) 平成 31 年度(2019 年)
- (3) 平成 32 年度(2020 年)
- (4) 平成 33 年度(2021 年)
- (5) 平成 34 年度以降(2022 年以降)

(6) その他

Q31【質問 4-5】「電子書籍貸出サービス」についての問い合わせや要望について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※質問 4-1 で (1) を選択した導入館の方はこの質問にご回答いただかなくて結構です。

- (1) 自治体の長（市区町村長、都道府県知事）及び自治体の内部からの問い合わせがある
 - (2) 自治体の議員からの問い合わせがある
 - (3) 住民からの問い合わせがある
 - (4) 現在のところ問い合わせはない
 - (5) その他（記載）
-

Q32【質問 4-6】電子書籍を提供する主な対象はどのような方でしょうか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※電子図書館サービスの導入済み、未導入の方どちらもご回答ください

- (1) 幼児（小学校入学前）
 - (2) 児童・生徒（小学生・中学生・高校生）
 - (3) 学生（大学生等）
 - (4) ビジネスパーソン
 - (5) 主婦
 - (6) 高齢者（65 歳以上）
 - (7) 図書館利用に障がいのある人
 - (8) 非来館者（これまで図書館を利用しなかった、出来なかった住民の方）
 - (9) その他（記載）
-

Q33【質問 4-7】 電子図書館サービスについて、今後導入を計画・希望するサービスについて、選択肢からご選択ください(複数回答可)

※質問 3-1 ですでに導入しているサービスを選択されている場合は、そのサービスは除きます

- (1) 電子書籍貸出サービス
 - (2) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (3) データベース提供サービス
 - (4) 専門技術情報提供
 - (5) デジタルアーカイブの提供
 - (6) 音楽・音声情報配信サービス
 - (7) その他 (記載)
-

Q34【質問 4-8】 「電子書籍貸出サービス」で提供されるジャンル(NDC 分類)について、選択肢から優先度の高いと思われる分野を 5 つまでご選択ください(5 つ以下でも結構です)

※電子図書館サービスの導入済み、未導入の方どちらもご回答ください

- (1) 0 類 総記
- (2) 1 類 哲学
- (3) 2 類 歴史・地理
- (4) 3 類 社会科学
- (5) 4 類 自然科学
- (6) 5 類 技術・工学
- (7) 6 類 産業
- (8) 7 類 芸術・スポーツ
- (9) 8 類 言語
- (10) 9 類 文学

Q35【質問 4-9】「電子書籍貸出サービス」で提供されるジャンル(非 NDC 分類)について、下の選択肢から優先度の高いと思われる分野を 5 つまでご選択ください(5 つ以下でも結構です)

※電子図書館サービスの導入済み、未導入の方どちらもご回答ください

- (1) 文芸書
 - (2) 実用書
 - (3) ビジネス書
 - (4) 専門書 (ビジネス書以外)
 - (5) 学習参考書
 - (6) 児童書・絵本
 - (7) 図鑑、年鑑
 - (8) 辞書・辞典
 - (9) コミック
 - (10) 雑誌
 - (11) 新聞
 - (12) 写真集
 - (13) その他 (記載)
-

Q36【質問 4-10】「電子書籍貸出サービス」で期待している機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※質問 4-1 で (1) を選択した「電子図書館サービス (電子書籍貸出サービス) 導入館」の方はこの質問にご回答いただかなくて結構です。

- (1) 音声読み上げ機能
 - (2) 文字拡大機能
 - (3) 文字と地の色の反転機能 (読書障害対応)
 - (4) マルチメディア機能 (映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供)
 - (5) 電子書籍の紙出力による提供 (コンテンツのプリントアウト)
 - (7) 必要な情報発見の検索サービス (コンテンツ全文検索)
 - (8) その他 (記載)
-

Q37【質問 4-11】「電子書籍貸出サービス」を実施する場合の課題について、懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

※質問 4-1 で (1) を選択した「電子図書館サービス (電子書籍貸出サービス) 導入館」の方はこの質問にご回答いただかなくて結構です。

- (1) 電子図書館導入予算の確保

- (2) 担当部署、担当者の問題
 - (3) 図書館利用者からのニーズ
 - (4) 電子書籍貸出サービスの導入に対する、費用対効果
 - (5) 電子書籍貸出サービスで提供されるコンテンツ
 - (6) 電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか（サービス中止に対する不安）
 - (7) 図書館の電子資料を他の図書館へ貸出するための方法や基準
 - (8) 電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識（経験）がない
 - (9) 電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (10) 利用者に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (11) その他（記載）
-

Q38【質問 4-12】 質問 4-11 で(5)を選択された方におかれまして、以下の懸念がございましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※質問 4-1 で (1) を選択した「電子図書館サービス（電子書籍貸出サービス）導入館」の方はこの質問にご回答いただかなくて結構です。

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツのタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (4) コンテンツの価格
 - (5) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
 - (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7) その他（記載）
-

Q39【5】「デジタルアーカイブ」について

Q39【質問 5-1】 貴館における「デジタルアーカイブ」の状況について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※このアンケートで「デジタルアーカイブ」とは、各図書館及び、図書館が属する自治体が所有する独自の資料、冊子、書物をデジタル化して保存、提供することを対象としています。

- (1) 図書館が資料等のデジタルアーカイブ保存を実施している。
 - (2) 図書館が「デジタルアーカイブ」の提供を実施している
 - (3) デジタルアーカイブの保存・提供の予定がある
 - (4) 現在デジタルアーカイブの保存・提供の予定はない
 - (5) その他 (記載)
-

Q40【質問 5-2】 質問 5-1 で(1)(2)を選択された場合について、これまで貴館独自にデジタル化した資料はどれくらいありますか、点数をご記入ください

- (1) デジタルアーカイブ化資料点数 []点

Q41【質問 5-3】 質問 5-2 のデジタル化した資料のうち提供している資料点数はどれくらいありますか、点数をご記入ください

- (1) デジタルアーカイブ資料提供点数 []点

Q42【質問 5-4】 「デジタルアーカイブ」の提供を実施している・実施の予定のある図書館(5-1(2)(3))を選択された方に、デジタルアーカイブ提供のターゲットはどなたでしょうか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 地元住民 (当該自治体及び周辺自治体)
 - (2) 学校 (主に地元の小・中学校)
 - (3) 住民以外 (地元自治体資料、地元観光情報としての提供等)
 - (4) その他 (記載)
-

**Q43【質問 5-5】 貴館において「デジタルアーカイブ」で提供したい分野を選択肢からご選択ください
(複数選択可)**

- (1) 図書館又は自治体所有の郷土資料や出版物
 - (2) 自治体が住民向けに発行する広報資料
 - (3) 自治体の発行する地元観光案内（委託して発行しているものを含む）
 - (4) 自治体の公表している行政資料
 - (5) 地元作家・地元にはゆかりのある作家の出版物
 - (6) その他（記載）
-

Q44【質問 5-6】 貴館における「デジタルアーカイブ」の課題点を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1) 資料のデジタル化保存のニーズ不足
 - (2) 資料などをデジタル化するための環境（情報機材、ネットワーク環境等）
 - (3) デジタル化するための権利処理問題（権利者の問題や、権利処理のためのノウハウの問題含む）
 - (4) デジタル化した資料のデータベース化及び ID や書誌データの付与
 - (5) デジタル化予算措置
 - (6) 担当者、人材不足
 - (7) デジタル化するための十分な知識や経験がない
 - (8) 適当な外部事業者がない
 - (9) その他（記載）
-

**Q45【質問 5-7】 貴館において独自に資料等をアーカイブして「デジタルアーカイブ」を提供する場合、デジタルアーカイブのコンテンツの二次許諾をどのように考えていますか、選択肢からご選択ください
(複数選択可)**

- (1) 二次許諾について検討している
 - (2) 二次許諾は考えていない
 - (3) 二次許諾については、ケースバイケースで考える
 - (4) その他（記載）
-

**Q46【6】 「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」に対する
対応について**

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

**Q46【質問 6-1】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」の対応について、
選択肢からご選択ください(一つ選択)**

- (1) 申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2) 申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3) 平成 30 年度（2018 年）中に申し込みをする予定で検討している
 - (4) 平成 31 年度（2019 年）以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5) 現在のところ申し込む予定はない
 - (6) その他（記載）
-

**Q47【質問 6-2】 質問 6-1 で(1)(2)を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を、選択
肢からご選択ください(複数選択可)**

- (1) より多くの資料を提供できるようになった
 - (2) 新たな図書館利用者の開拓につながった
 - (3) 図書館利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった
 - (4) より迅速に資料を提供できるようになった
 - (5) 相互貸借を減らすことができた
 - (6) 利用者端末の有効活用につながった
 - (7) その他（記載）
-

**Q48【質問 6-3】 質問 6-1 で(1)(2)を選択した方について、図書館で「国立国会図書館 図書館向
けデジタル化資料送信サービス」を開始して感じる課題を以下の選択肢からご選択ください(複数選
択可)**

- (1) 利用が少ない
- (2) 魅力的な資料が少ない
- (3) 操作方法に工夫・改良の余地がある
- (4) 運用・管理が煩雑である
- (5) 設備や要員に係る負担が大きい

- (6) 複写物の提供に係る判断が難しい
 - (7) その他（記載）
-

Q49【7】その他

Q49【質問 7-1】 貴館の地域の学校図書館への支援・連携について現在の状況を、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 紙の資料・書籍の貸借などの支援を行っている
 - (2) デジタル資料・電子書籍に関する支援を行っている
 - (3) 児童生徒向けに、学校図書館・公共図書館の活用の説明を行っている
 - (4) 特に支援は行っていない
 - (5) その他（記載）
-

Q50【質問 7-2】 貴館の自治体の教育情報化への対応について現在の状況を、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 学校（小中高校）の教育情報化についての検討をすでに行っている
 - (2) 学校の教育情報化の検討を年度内に行う予定である
 - (3) 学校の教育情報化の対応は未定（予定が具体的にない）
 - (4) その他（記載）
-

Q51【質問 7-3】 貴館において、利用者が使える Wi-Fi サービスを提供していますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 利用者が使える無料の Wi-Fi サービスがある
 - (2) 有料の Wi-Fi サービスを案内している
 - (3) Wi-Fi サービスは特に案内していない
 - (4) その他（記載）
-

Q52【質問 7-4】 その他、全体を通してご意見等ございましたら、ご記入ください（記載）

最終ページ